

# かべ新聞

第 22 号

2010年  
12月23日

J R 東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## 健康診断に関して、まだあった！

### 管理者も『時系列報告書』や『始末書』を書いているのか！？

交検車両所・修繕車両所・仕業車両所の皆さん！

3つの車両所に分割・再編され、スムーズに仕事が出来ないのは、現場で作業している皆さんが一番感じていることと思います。

私たちは『カベ新聞 21号』で交検車両所の健康診断に関する手違いを明らかにしました。何と仕業車両所においても、非常にお粗末な事象があったのです。

### 総務科長は業務用掲示をしっかりチェックしているのか！

健康診断での『石綿検査（レントゲン）は 12月16日から実施』と仕業車両所の業務用掲示板に掲出されていました。ちなみに、その掲示物には総務科長の認め印が押され12月1日から12月22日の期間掲示するものでした。

15日夜勤（16日が非番）の社員は、当然16日の午前中から受診する予定で出勤してきています。ところが、**修繕車両所の社員から「石綿検査は16日の午後からだよ！」**との話が伝わってきたのです。仕業の管理助役に確認をしたところ「仕業検査車両所は午前中からとなっているのだから、その通りでいいのでは」という返答でした。しかし、『仕業と修繕で違うのはおかしい！』と思うのは当然です。再度「確認をしてくれ！」と頼みました。当直助役が総務担当者に電話で確認したましたが、やはり「午前中から行う！」という回答でした。

翌日（16日）の朝、事態は一転しました。石綿検査は16日の午後からだということが分かったのです。その管理助役はさぞかしあわてたことでしょう！仕業検査社員に謝りだしたのです。「どういうことか！」と興奮して怒った社員がいたのは当然です。仕業検査の終了点呼時に総務科長が謝りに来たとか？！

謝るのは当然としても、管理者であれば謝罪だけで済むのでしょうか？ 私たちがミスをしたら「時系列等報告書」を書かされ、挙句の果ては「始末書」を強要されるのです。他の職場では『石綿検査は午後から』と連絡しているのに、唯一総務科長を配置している仕業車両所においての間違いには驚くばかりです。

### 社員にケジメがつきません！ 組合の指摘を真摯に受け止める！

私たちJR東海労はこれまでも『特に当直と外勤の連絡体制が出来ていない！』と事業本部に申し入れを行ってきています。残念ながらさっぱり改善されることもありません。私たちJR東海労は、このような管理者のミスに絶対許しません！

それは、額に汗して働いている現場社員に対して、些細な事象をも大問題であるかのように扱い『時系列等報告書』や『始末書』を強要するやり方はおかしいからです！

### 職場を明るくするために JR 東海労は今後も断固闘います！